

応援団にインタビュー

柏崎工場労務管理課・佐藤さん、本社人事企画部・佐藤課長代理と山崎係長

育休取得の相談を受けたときの気持ちを教えてください

既に取得者がいたので、特に迷うこともなく引継ぎ等の手配に動きました。

育休前に行った職場内(所属係・担当)、本人への対応を教えてください

早めに(2か月前)申し出があったので、引継ぎ等のスケジュールもスムーズに進められました。

育休中の職場内(所属係・担当)の業務調整、本人への対応を教えてください

業務を引き継ぐ職員に業務内容を指導してもらうよう、本人にお願いしました。休暇前にしっかりと引き継いでいたため、休暇中は特に支障がなく、連絡はしませんでした。男性育休は、当社では取得するのが当たり前になってきています。男性育休取得率100%を目標に掲げており、ここ数年で取得実績が上がってきています。これからも取得しやすい職場環境の推進に心掛けたいと思います。

育休後の本人の様子(本人へのフォローなど)を教えてください

面談が義務付けられており、面談の実施、面談時期も決まっています。面談は、チェックシートに基づいて実施しています。



部下が・同僚が育休を取得したことで、職場内でよかったことを教えてください

当初は人手がないというような不満もあったようですが、今はもう取得が当たり前になっていて、出産時期が分かれば面談して取得時期を相談するようになっていています。大昔は女性でも育休を取得しないのが当たり前の時代から、女性の育休取得100%を掲げて進んできました。同様に男性育休も100%を目指して取り組んでいます。会社が強力的に推進しているので、男性社員は取得が当たり前という状況になっていますが、会社による推進が周囲への遠慮から取得を躊躇する社員の取得のしやすさにつながっていると思っています。

取得後に、もっとこうすればよかったなどの気づきがあれば教えてください

全体的なことにはなりますが、休業中の社員に対して、社内の情報発信が弱かったように思います。

子育てハンドブックを独自に作成していますが、どのような目的で作られたのでしょうか

出産や育児に関わる制度等について、当事者の役に立つよう情報をまとめ、社員に周知することが目的です。父母のどちらかが当社の社員であれば、手元に届く仕組みです。当社独自の支援の一つとして助産師の相談窓口を設置しており、不安があればいつでも相談できるようになっています。